

# 安全データシート

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	ハイジオン-VG
会社	日本曹達株式会社
住所	〒100-8165 東京都千代田区大手町2-2-1
担当部門	化学品事業部環境化学品部環境化学品課
電話番号	03-3245-6148
FAX 番号	03-3245-6248
緊急連絡先情報	化学品事業部環境化学品部環境化学品課
電話番号	03-3245-6148
夜間緊急連絡先	二本木工場保安センター（夜間・休日）
電話番号	0255-81-2311
SDS 作成日	1997年03月13日
SDS 改訂日	2021年09月28日(13版)

## 2. 危険有害性の要約

### GHS 分類

健康有害性	皮膚腐食性／刺激性	区分1
	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分1
環境有害性	水生環境有害性 短期（急性）	区分1

### ラベル要素

絵表示（GHS JP）



注意喚起語（GHS JP）

： 危険

危険有害性（GHS JP）

： 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷  
重篤な眼の損傷  
水生生物に非常に強い毒性

注意書き（GHS JP）

安全対策

： 付着すると皮膚や眼の組織を侵すので、取扱いの際はゴーグル（眼）、ゴム製手袋、ゴム衣及びゴム長靴を着用すること。  
ミストを吸入しないこと。  
取扱い後は手をよく洗うこと。  
環境への放出を避けること。

応急措置

： 飲み込んだ場合：直ちにうがいをさせた後、コップ1～2杯の水をのませ安静にし、速やかに医師の手当てを受ける。  
吸入した場合：新鮮な空気のある場所に移し、うがいをさせる。  
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
直ちに医師に連絡すること。

管理番号：N2-9491000

皮膚に付着した場合：多量の水で流した後、石鹼を用いて水でよく洗う。  
直ちに医師に連絡する。  
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。  
漏出物を回収すること。

注意書き (GHS JP)

- ： [保管]  
容器はできれば窒素シールし、密栓して直射日光のあたらない換気の良い場所に保管する。  
屋内保管所は換気に十分に配慮し、事前に十分な換気を行って入室する。  
酸や酸性物質と同じ場所で保管しない。
- [廃棄]  
おが屑等に吸収させるか、又は可燃性溶剤と混合してアフターバーナー及びアルカリスクラバーを具備した焼却炉の火室に噴霧して焼却する。  
都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に処理を委託する。  
酸で中和処理してはならない。

### 3. 組成及び成分情報

- 化学物質・混合物の区別：混合物  
一般名：ジチオカルバミド酸系化合物を含む重金属処理剤水溶液（キレート剤）

化学名	濃度 (%)	化学式	官報公示整理番号		CAS 番号
			化審法番号	安衛法番号	
N,N-ジエチルジチオカルバミド酸カリウム	≥ 52	(C <sub>2</sub> H <sub>5</sub> ) <sub>2</sub> N CSSK	(2)-1249	なし(公表化学物質扱い)	3699-30-7

### 4. 応急措置

#### 応急措置

- 吸入した場合：ミストを吸入した場合は、患者を新鮮な空気のある場所に移し、うがいをさせる。身体に異常を感じたら、直ちに医師の診断を受ける。
- 皮膚に付着した場合：汚染された衣類を直ちに全て脱ぐこと。  
：多量の水で洗い流した後、石鹼を用いて水でよく洗う。直ちに医師に連絡する。
- 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。  
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
直ちに医師に連絡すること。
- 飲み込んだ場合：意識があっても無理に吐かせてはならない。直ちにうがいをさせた後、コップに1～2杯の水を飲ませて安静にする。胃液に触れると二硫化炭素等のガスが発生するので速やかに医師の手当てを受けさせる。意識不明の場合は安静にし、速やかに医師の手当てを受ける。

## 5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 不燃性  
: 周辺火災に適した消火剤が使用できる。
- 消火方法 : 不燃性。周辺火災の場合、速やかに容器を安全な場所に移す。  
移動不可能な場合は、容器及び周辺に散水して冷却する。
- 消火時の保護具 : 火災に巻き込まれた場合には、有害な窒素酸化物や硫黄酸化物のガスを発生するので、空気呼吸器及びその他の保護具を着用して消火する。
- 

## 6. 漏出時の措置

### 人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

- 一般的措置 : 作業の際は、保護具を着用する。保護具については「8. ばく露防止及び保護措置」を参照の事。  
飛散した場所の周辺にロープを張るなどして「立入禁止」の措置をする。

### 環境に対する注意事項

- 環境に対する注意事項 : 本製品は強アルカリ性で水生生物に強い毒性があるので、漏出液が河川等に流れ込まないように土砂等で流れを止める。  
洗い流す場合、廃液が下水溝、河川、田畑等に流入しないように注意する。

### 封じ込め及び浄化の方法及び機材

- : できるだけ空容器に回収する。土砂等に吸収させて回収してもよい。  
回収したあとは多量の水で洗い流す。
- 二次災害の防止策 : 回収できないものの処理に、酸を使用すると強引火性で有害な二硫化炭素、硫化水素、硫化カルボニル等を発生するので、処理に酸を使用してはならない。
- 

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

- 技術的対策 : データなし
- 安全取扱注意事項 : 高温、火気等を避けて、換気のよい場所で取扱又は使用する。開封はできるだけ短時間とし、使用後は可能であれば窒素シールし、密栓して保管する。  
無機酸(塩酸、硫酸等)・有機酸(酢酸、コハク酸等)又は酸性物質(塩化第二鉄、硫酸アルミニウム、ポリ塩化アルミニウム等)との混合・接触により、強引火性で有害な二硫化炭素、硫化水素、硫化カルボニル等を発生する。  
これらは、空気中で高温体(90℃以上)、静電気、火花、衝撃等により容易に引火・爆発するので十分注意する。  
経時変化や飛灰の処理においても、二硫化炭素等が発生することがあるので、処理場所の換気に十分配慮する。  
他の重金属処理剤(ジカリウムペラジソン-1, 4-ビス(カボジチアート) ; ハイジオン-NP等)と混合使用しない。低温条件下で混合使用すると結晶を析出する恐れがある。
- 接触回避 : 付着すると皮膚や眼の組織を侵すので、取扱いの際は必ず保護具を着用する。  
取扱い後は手や顔等の露出部を良く洗う。
-

**保管**

安全な保管条件	: 容器はできれば窒素シールし、密栓して直射日光のあたらない換気のよい場所に保管し、開封後は早めに使用する。 屋内保管所は換気に十分に配慮し、同所に入るときは、事前に十分な換気を行ってから入室する。また、酸や酸性物質〔前項 安全取扱注意事項を参照〕と同じ場所で保管しない。 屋内貯槽の大気開放ノズルは屋外に出しておくことが望ましい。
安全な容器包装材料	: データなし

**8. ばく露防止及び保護措置**

《N,N-ジエチルピカリンミド酸カリウム のデータ》

## 厚生労働省

管理濃度 : 設定されていない

## 日本産業衛生学会

許容濃度(産衛学会) : 設定されていない

年度 : 2020

## ACGIH

許容濃度(ACGIH) : 設定されていない

年度 : 2021

## 設備対策

: 取扱及び貯蔵場所には、局所排気設備(下方換気)を設置する。又、全体排気装置の設置を推奨する。

## 呼吸用保護具

: 有機ガス用防毒マスク

: (火災時、空気呼吸器)

## 手の保護具

: ゴム製の保護手袋

## 眼の保護具

: ゴーグル

: (フェースシールド面の併用を推奨する)

## 皮膚及び身体の保護具

: ゴム衣(使用しない場合はゴム製前掛け)及びゴム長靴

**9. 物理的及び化学的性質**

物理状態	: 液体
色	: 黄色～赤褐色
臭い	: データなし
pH	: $\geq 13$ (25°C)
融点	: データなし
凝固点	: -12 °C
沸点	: 約 108 °C
引火点	: なし
自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
可燃性	: データなし
蒸気圧	: 2.38 kPa (25°C) , 15.2kPa (60°C)
相対密度	: 1.20 (20°C)
密度	: データなし
相対ガス密度	: データなし

管理番号：N2-9491000

溶解度	: 水: 任意に溶け合う アセトン: 溶解するが、次第に沈殿物が生じる 有機溶剤: 任意に溶け合う (メタノール) 不溶 (n-ヘキサン、o-キシレン) 溶解するが、次第に沈殿物が生じる (DMSO、DMF、THF)
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	: データなし
爆発特性	: 爆発物: 化学構造から、分類対象外とした。
爆発限界 (vol %)	: データなし
酸化特性	: 酸化性液体: 化学構造から、分類対象外とした。
粘性率	: 6 mPa·s (20°C、B型粘度計)
動粘性率	: データなし
その他の性質	: 比熱: 2.75kJ/(kg·°C) (25°C製品について) 電気伝導度: 99.8mS/cm(33°C) 自己反応性化学品: 化学構造から、分類対象外とした。
粒子特性	: データなし

## 10. 安定性及び反応性

反応性	: 経時変化及び飛灰の処理において、強引火性で有害な二硫化炭素、硫化水素、硫化カルボニル等を発生することがある。
化学的安定性	: 「7. 取扱い及び保管上の注意」に記載する保存条件では、安定である。
危険有害反応可能性	: 酸又は酸性物質と反応して有害な二硫化炭素、硫化水素を発生する。
避けるべき条件	: 経時変化や飛灰の処理で、二硫化炭素、硫化水素、硫化カルボニル等が発生した場合、高温 (90°C以上)、静電気、火花等を避ける。
混触危険物質	: 酸、酸性物質 無機酸 (塩酸、硫酸等)、有機酸 (酢酸、コハク酸等)、又は酸性物質 (塩化第二鉄、硫酸アルミニウム、ポリ塩化アルミニウム等)との混合・接触により発熱し、強引火性で有害な二硫化炭素、硫化水素、硫化カルボニル等を発生する。濃塩酸との反応熱:50.4kcal/kg 製品 (211kJ/kg 製品)
危険有害な分解生成物	: 上記の通り、酸又は酸性物質との反応により、二硫化炭素、硫化水素、硫化カルボニル等を発生する。また、塩酸との反応では、微量ではあるが水素も発生する。塩酸による分解生成物 二硫化炭素: 181g/kg 製品、硫化水素: 1.3g/kg 製品、硫化カルボニル: 0.05g/kg 製品、水素: 0.03g/kg 製品

## 11. 有害性情報

総括的な有害性情報	: 強アルカリ性で眼、皮膚、気道・食道等の粘膜等に対して腐食性を示す。眼に付着したまま放置すると失明することがある。
急性毒性 (経口)	: 区分に該当しない
急性毒性 (経皮)	: 分類できない
急性毒性 (吸入)	: 区分に該当しない (分類対象外) (気体) 分類できない (蒸気) 分類できない (粉じん、ミスト)

### ハイジオン-VG

LD50 経口 ラット	> 2000 mg/kg [*02]
-------------	--------------------

皮膚腐食性/皮膚刺激性	: 重篤な皮膚の葉傷 強アルカリ性のため、皮膚に対して腐食性を示す。
-------------	---------------------------------------

ハイジオン-VG	
pH	≥ 13 (25°C)

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 重篤な眼の損傷  
強アルカリ性のため、眼に対して腐食性を示す。

ハイジオン-VG	
pH	≥ 13 (25°C)

呼吸器感受性 : 分類できない  
皮膚感受性 : 分類できない  
生殖細胞変異原性 : 分類できない  
Ames 試験：陰性 [\*01]  
発がん性 : 分類できない  
生殖毒性 : 分類できない  
特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 分類できない  
特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 分類できない  
誤えん有害性 : 分類できない

## 12. 環境影響情報

### 生態毒性

水生環境有害性 短期(急性) : 水生生物に非常に強い毒性  
水生環境有害性 長期(慢性) : 分類できない

ハイジオン-VG	
LC50 - 魚 [1]	0.5 mg/l (ヒメダカ、96hr) [*03]

### 残留性・分解性

ハイジオン-VG	
残留性・分解性	データなし

### 生体蓄積性

ハイジオン-VG	
生体蓄積性	データなし

### 土壌中の移動性

ハイジオン-VG	
土壌中の移動性	データなし



労働安全衛生法	:	通知対象物質 非該当 表示対象物質 非該当
毒物及び劇物取締法	:	非該当
消防法	:	非該当
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 法)	:	非該当

## 16. その他の情報

引用文献	:	〔*01〕 SafePharm Laboratories Limited, SPL PROJECT NUMBER:235/168 〔*02〕 SafePharm Laboratories Limited, SPL PROJECT NUMBER:235/166 〔*03〕 SafePharm Laboratories Limited, SPL PROJECT NUMBER:235/167
------	---	--

記載内容は現時点で入手できた資料、情報データに基づいて作成していますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。又、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には用途・用法に適した安全対策を実施の上、利用してください。

### 中毒したときの緊急連絡先

公益財団法人 日本中毒情報センター (事故に伴い急性中毒の恐れがある場合に限る)				
中毒110番 一般市民専用電話	(大 阪)	072-727-2499 (情報料無料)	365日 24時間対応	
	(つくば)	029-852-9999 (情報料無料)	365日 9~21時対応	
医療機関専用有料電話	(大 阪)	072-726-9923 (1件 2000円)	365日 24時間対応	
	(つくば)	029-851-9999 (1件 2000円)	365日 9~21時対応	
医療機関の方が一般市民専用電話を使用した場合も、 情報料1件につき2,000円を徴収します。				



# 安全データシート

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	ハイジオン-NP
会社	日本曹達株式会社
住所	〒100-8165 東京都千代田区大手町2-2-1
担当部門	化学品事業部環境化学品部環境化学品課
電話番号	03-3245-6148
FAX 番号	03-3245-6248
緊急連絡先情報	化学品事業部環境化学品部環境化学品課
電話番号	03-3245-6148
夜間緊急連絡先	二本木工場保安センター（夜間・休日）
電話番号	0255-81-2311
SDS 作成日	2002年06月21日
SDS 改訂日	2021年09月28日(11版)

## 2. 危険有害性の要約

### GHS 分類

健康有害性	皮膚腐食性／刺激性	区分2
	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分1

### ラベル要素

絵表示（GHS  
JP）



注意喚起語（GHS JP）：危険

危険有害性（GHS JP）：皮膚刺激  
重篤な眼の損傷

### 注意書き（GHS JP）

- 安全対策：付着すると皮膚や眼の組織を侵すので、取扱いの際はゴーグル（眼）、ゴム製手袋、ゴム衣及びゴム長靴を着用すること。  
取扱い後は手をよく洗うこと。
- 応急措置：飲み込んだ場合：直ちにうがいをさせた後、コップ1～2杯の水をのませ安静にし、速やかに医師の手当てを受ける。  
吸入した場合：新鮮な空気のある場所に移し、うがいをさせる。  
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
眼に入った場合：直ちに医師に連絡すること。  
皮膚に付着した場合：多量の水で流した後、石鹸を用いて水でよく洗う。  
皮膚刺激が生じた場合、医師の診察/手当てを受ける。  
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

管理番号：N2-9519700

注意書き(GHS JP)

： [保管]

容器はできれば窒素シールし、密栓して直射日光のあたらない換気の良い場所に保管する。

屋内保管所は換気に十分配慮し、事前に十分な換気を行って入室する。また、酸や酸性物質と同じ場所で保管しない。

[廃棄]

おが屑等に吸収させるか、又は可燃性溶剤と混合して焼却炉の火室に噴霧して焼却する。

都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に処理を委託する。

酸で中和処理してはならない。

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

： 混合物

一般名

： ジチオカルバミド酸系化合物を含む重金属処理剤水溶液（キレート剤）

化学名	濃度 (%)	化学式	官報公示整理番号		CAS 番号
			化審法番号	安衛法番号	
ジ <sup>レ</sup> カリウム=ヒ <sup>テ</sup> ヘ <sup>ラ</sup> ジ <sup>ン</sup> -1,4-ヒ <sup>ス</sup> (カルボ <sup>シ</sup> チオ <sup>ア</sup> ート)	40	C6H8N2S4 K2	(5)-6783	8-(2)-1952	40839-73-4

### 4. 応急措置

#### 応急措置

吸入した場合

： ミストを吸入した場合は、患者を新鮮な空気のある場所に移し、うがいをさせる。身体に異常を感じたら医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合

： 多量の水で流した後、石鹼を用いて水でよく洗う。皮膚刺激が生じた場合、医師の診察/手当てを受ける。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯する。

眼に入った場合

： 水で数分間注意深く洗うこと。  
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
直ちに医師に連絡すること。

飲み込んだ場合

： 意識があっても無理に吐かせてはならない。直ちにうがいをさせた後、コップに1~2杯の水を飲ませて安静にする。胃液に触れると二硫化炭素等のガスが発生するので速やかに医師の手当てを受けさせる。意識不明の場合は安静にし、速やかに医師の手当てを受ける。

### 5. 火災時の措置

適切な消火剤

： 不燃性

： 周辺火災に適した消火剤が使用できる。

消火方法

： 不燃性。周辺火災の場合、速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合は、容器及び周辺に散水して冷却する。

管理番号：N2-9519700

消火時の保護具 : 火災に巻き込まれた場合には、有害な窒素酸化物や硫黄酸化物のガスを発生するので、空気呼吸器及びその他の保護具を着用して消火する。

## 6. 漏出時の措置

### 人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

一般的措置 : 作業の際は、保護具を着用する。保護具については「8. ばく露防止及び保護措置」を参照の事。  
飛散した場所の周辺にロープを張るなどして「立入禁止」の措置をする。

### 環境に対する注意事項

環境に対する注意事項 : 本製品は強アルカリ性なので漏出液が河川等に流れ込まないように土砂等で流れを止める。  
洗い流す場合、濃厚な廃液が下水溝、河川、田畑等に流入しないように注意する。

### 封じ込め及び浄化の方法及び機材

: できるだけ空容器に回収する。土砂等に吸収させて回収してもよい。回収したあとは多量の水で洗い流す。  
二次災害の防止策 : 回収できないものの処理に、酸を使用すると強引火性で有害な二硫化炭素、硫化水素等を発生するので、処理に酸を使用してはならない。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

技術的対策 : データなし  
安全取扱注意事項 : 高温、火気等を避けて、換気のよい場所で取扱又は使用する。開封はできるだけ短時間とし、使用後は可能であれば窒素シールし、密栓して保管する。  
無機酸(塩酸、硫酸等)・有機酸(酢酸、コハク酸等)又は酸性物質(塩化第二鉄、硫酸アルミニウム、ポリ塩化アルミニウム等)との混合・接触により、強引火性で有害な二硫化炭素、硫化水素等を発生する。  
これらは、空気中で高温体(90℃以上)、静電気、火花、衝撃等により容易に引火・爆発するので十分注意する。  
経時変化や飛灰の処理においても、二硫化炭素等が発生することがあるので、処理場所の換気に十分配慮する。  
他の重金属処理剤(N,N-ジエチルジチカルバミト酸カリウム;ハイジオン-VG等)と混合使用しない。混合使用すると低温条件下で結晶を析出する恐れがある。  
接触回避 : 付着すると皮膚や眼の組織を侵すので、取扱いの際は必ず保護具を着用する。  
取扱い後は手や顔等の露出部を良く洗う。

### 保管

安全な保管条件 : 容器はできれば窒素シールし、密栓して直射日光のあたらない換気のよい場所に保管し、開封後は早めに使用する。  
屋内保管所は換気に十分に配慮し、同所に入るときは、事前に十分な換気を行ってから入室する。また、酸や酸性物質[前項 安全取扱注意事項を参照]と同じ場所で保管しない。  
屋内貯槽の大気開放ノズルは屋外に出しておくことが望ましい。  
安全な容器包装材料 : ステンレス鋼製の容器に保管する。

## 8. ばく露防止及び保護措置

《ジ`カリウム=ヒ`ペ`ラジ`ン-1,4-ヒ`ス (カホ`ジ`チオ`ア`ト) のデータ》

### 厚生労働省

管理濃度 : 設定されていない

### 日本産業衛生学会

許容濃度(産衛学会) : 設定されていない

年度 : 2020

### ACGIH

許容濃度(ACGIH) : 設定されていない

年度 : 2021

設備対策 : 取扱及び貯蔵場所には、局所排気設備（下方換気）を設置する。又、全体排気装置の設置を推奨する。

呼吸用保護具 : 有機ガス用防毒マスク  
: (火災時、空気呼吸器)

手の保護具 : ゴム製の保護手袋

眼の保護具 : ゴーグル

: (フェースシールド面の併用を推奨する)

皮膚及び身体の保護具 : ゴム衣(使用しない場合はゴム製前掛け)及びゴム長靴

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 液体

色 : 黄～黄緑色

臭い : データなし

pH :  $\geq 13$  (20°C)

融点 : データなし

凝固点 : -12 °C

沸点 : データなし

引火点 : なし

自然発火点 : データなし

分解温度 : データなし

可燃性 : データなし

蒸気圧 : データなし

相対密度 : 1.24 (20°C)

密度 : データなし

相対ガス密度 : データなし

溶解度 : 水: 89g/100g (純分として) (20°C)

アセトン: 難溶、次第に沈殿を生ずる

有機溶剤: 溶解する (メタノール、DMSO、DMF) 難溶、次第に沈殿を生ずる (n-ヘキサン、キシレン、THF)

n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow) : データなし

爆発特性 : 爆発物: 化学構造から、分類対象外とした。

爆発限界 (vol %) : データなし

管理番号：N2-9519700

酸化特性	: 酸化性液体：化学構造から、分類対象外とした。
粘性率	: 5 mPa·s (B型粘度計、20°C)
動粘性率	: データなし
その他の性質	: 自己反応性化学品：化学構造から、分類対象外とした。
粒子特性	: データなし

## 10. 安定性及び反応性

反応性	: 経時変化及び飛灰の処理において、強引火性で有害な二硫化炭素、硫化水素等を発生することがある。これらは、空気中で高温(90°C以上)、静電気、火花等で引火・爆発しやすい。
化学的安定性	: 「7. 取扱い及び保管上の注意」に記載する保存条件では、安定である。
危険有害反応可能性	: 酸又は酸性物質と反応して有害な二硫化炭素、硫化水素を発生する。
避けるべき条件	: 経時変化や飛灰の処理で、二硫化炭素、硫化水素等が発生した場合、高温(90°C以上)、静電気、火花等を避ける。
混触危険物質	: 酸、酸性物質 無機酸(塩酸、硫酸等)、有機酸(酢酸、コハク酸等)、又は酸性物質(塩化第二鉄、硫酸アルミニウム、ポリ塩化アルミニウム等)との混合・接触により発熱し、強引火性で有害な二硫化炭素、硫化水素等を発生する。 また、塩酸との反応では、微量ではあるが水素も発生する。
危険有害な分解生成物	: 上記の通り、酸又は酸性物質との反応により、二硫化炭素、硫化水素等を発生する。塩酸による分解生成物 二硫化炭素：168g/kg 製品、硫化水素：0.22g/kg 製品

## 11. 有害性情報

総合的な有害性情報	: 強アルカリ性で眼、皮膚、気道・食道等の粘膜等に対して刺激性または腐食性を有する可能性がある。
急性毒性(経口)	: 区分に該当しない
急性毒性(経皮)	: 分類できない
急性毒性(吸入)	: 区分に該当しない(分類対象外)(気体) 分類できない(蒸気) 分類できない(粉じん、ミスト)

ハイジオン-NP	
LD50 経口 ラット	> 1000 mg/kg (純分として)
皮膚腐食性/皮膚刺激性	: 皮膚刺激 中程度の刺激性 (ウギ) [*01]

ハイジオン-NP	
pH	≥ 13 (20°C)
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: 重篤な眼の損傷 データはないが、皮膚刺激性のデータ及びpHが高いことから強い刺激性が予想される。眼に付着したまま放置すると失明することがある。

ハイジオン-NP	
pH	≥ 13 (20°C)
呼吸器感受性	: 分類できない

皮膚感作性	: 分類できない
生殖細胞変異原性	: 分類できない Ames 試験：陰性
発がん性	: 分類できない
生殖毒性	: 分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: 分類できない
誤えん有害性	: 分類できない

## 12. 環境影響情報

### 生態毒性

総括的な環境影響情報	: 魚毒性は、強くないが、難分解性で、化審法優先評価化学物質であり、化学物質管理促進法の第一種指定化学物質の二硫化炭素等を生じる可能性があるため、環境への影響が考えられる。
水生環境有害性 短期（急性）	: 区分に該当しない
水生環境有害性 長期（慢性）	: 分類できない

ハイジオン-NP	
LC50 - 魚 [1]	> 40 mg/l (純分として) (ヒメダカ、96hr) [*03]
BCF - 魚 [1]	データないが、水溶解度が大きいので、蓄積性は、低いことが予想される。

### 残留性・分解性

ハイジオン-NP	
残留性・分解性	難生分解性。
BOD (ThOD の割合)	29% (28日間) [*02]

### 生体蓄積性

ハイジオン-NP	
生体蓄積性	データなし
BCF - 魚 [1]	データないが、水溶解度が大きいので、蓄積性は、低いことが予想される。

### 土壌中の移動性

ハイジオン-NP	
土壌中の移動性	データなし

### オゾン層への有害性

- オゾン層への有害性 : 分類できない  
モントリオール議定書の付属書に列記された物質を含有しない。
- その他の有害な影響 : 追加情報なし
- 

## 13. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物 : 内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。  
処理を外部に委託する場合は、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する。  
おが屑等に吸収させるか、または可燃性溶剤と混合してアフターバーナー及びアルカリスクラバーを具備した焼却炉の火室に噴霧して焼却する。  
酸で中和処理してはならない。
- 

## 14. 輸送上の注意

### 国際規制

- 海上規制情報 : 非危険物
- 航空規制情報 : 非危険物
- 国連番号 : 該当せず
- 海洋汚染物質 : 非該当

### 国内規制

- 海上規制情報 : 非危険物
- 航空規制情報 : 非危険物

### 特別な輸送上の注意

- : 荷役中の取扱いは慎重丁寧に行い、転倒・落下・衝撃等により容器を傷め、内容物を飛散させてはならない。
- : 運送中は直射日光が当たらないように被覆等をするとともに、酸又は酸性物質と一緒に運ばない。  
ローリ車又は液体用コンテナで運送した場合は、荷卸先の貯槽の品名と合致しているか、必ず受入れ側の職員に確認した後、荷卸しする。

### その他の情報

- : 補足情報なし。
- 

## 15. 適用法令

### 国内法令

- 化審法 : 優先評価化学物質（法第2条第5項）  
ジカリウム=ピペラジン-1, 4-ビス（カルボジチオアート）
- 労働安全衛生法 : 通知対象物質 非該当  
表示対象物質 非該当
- 毒物及び劇物取締法 : 非該当
- 消防法 : 非該当
- 化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法) : 非該当
-

## 16. その他の情報

引用文献 : [\*01] SafePharm SPL PROJECT NUMBER 235/372 (2000)  
[\*02] (株) 三菱化学安全科学研究所 A000254 (2000)  
[\*03] SafePharm SPL PROJECT NUMBER 235/374 (2000)

記載内容は現時点で入手できた資料、情報データに基づいて作成していますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。又、注意事項は通常の見取り方を対象としたものなので、特殊な見取り方の場合には用途・用法に適した安全対策を実施の上、利用してください。

### 中毒したときの緊急連絡先

公益財団法人 日本中毒情報センター（事故に伴い急性中毒の恐れがある場合に限る）  
中毒110番 一般市民専用電話 (大 阪) 072-727-2499 (情報料無料)  
365日24時間対応  
(つくば) 029-852-9999 (情報料無料)  
365日9~21時対応  
医療機関専用有料電話 (大 阪) 072-726-9923 (1件2000円)  
365日24時間対応  
(つくば) 029-851-9999 (1件2000円)  
365日9~21時対応

医療機関の方が一般市民専用電話を使用した場合も、  
情報料1件につき2,000円を徴収します。